

製品名: リン酸化 LIM キナーゼ 1 (Thr508) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00951

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

抗原情報

遺伝子名	LIMK1
別名	LIMK1; LIMK; LIM domain kinase 1; LIMK-1
遺伝子 ID	3984
SwissProt ID	P53667
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

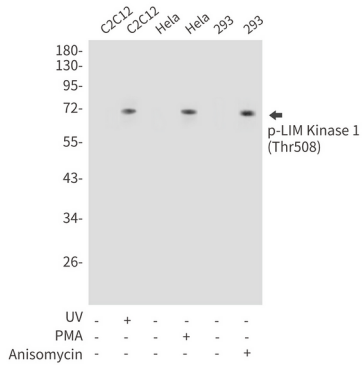
アクチンフィラメントの動態を制御するタンパク質キナーゼ。アクチン結合 / 脱重合因子であるコフィリンをリン酸化して不活性化し、アクチン細胞骨格を安定化させる。軸索の伸長を刺激し、脳の発達に関与している可能性がある。アイソフォーム 3 はアクチン

細胞骨格の変化に対して優性阻害作用を示す。

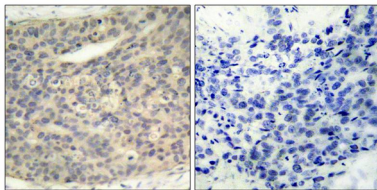
研究分野

神経科学

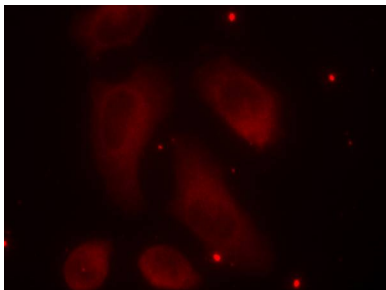
画像データ



Phospho-LIM Kinase 1 (Thr508) 抗体を使用した C2C12、HeLa、293 溶解物中の Phospho-LIM Kinase 1 (Thr508) のウエスタンブロット分析。



LIMK1 (リン酸化 Thr508) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



LIMK1 (Phospho-Thr508) 抗体 (赤) を使用した HeLa 細胞における Phospho-LIM キナーゼ 1 (Thr508) の免疫蛍光分析。